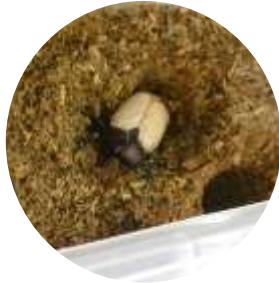


3歳児クラス カブトムシの 成長観察の様子

昨年の5歳児クラスが飼育していたカブトムシが産んだ幼虫を譲り受け、成長の様子をクラスで観察しています。



カブトムシの成長の流れの写真や、甲虫の本を見て「これと同じ」「カブトムシだ！」と幼虫と見比べたりしていました。



さなぎになった姿や、羽化したての姿は大人も子ども見るのは初めて。「茶色くなった!」「カブトムシになった」とみんなで驚きました。

成虫のカブトムシになり子どもたちの楽しみは、えさのゼリーを食べる様子を見ることや、オス同士の戦いを見ること。「おいしいかな?」「たたかっている!」と観察しながら子ども同士の会話が聞こえてきました。また触ることも楽しく、触れなかった子も触れる子にあこがれを持ち触れるようにもなりました。



もてたよ!

残念ながらカブトムシの命は成虫になってから1~3ヶ月で、日々観察していましたが死んでしまいました。「死んじゃったね」「かわいそう」という子もいました。園庭の花壇にみんなで埋めてお別れをしました。死んでしまったのは悲しいですが、メスのカブトムシが卵を産み8匹の幼虫が産まれました。子どもたちは小さな幼虫をみると「ちいさい」「カブトムシになるかな」と成長を楽しみにしています。



ちっちゃーい!